

「堂々川；ホタルと花と砂留と・Ⅱ」

2023（令和5）年6月17日 堂々川ホタル同好会情報誌 2023年度第2号（創刊218号）

1. 6月11日定例会 22人参加で実施しました。定例会は10時で終わりその後総会を実施
2. 草刈り、彼岸花植栽、猪被害場の補修、ごみ拾い

今年のホタルは昨年福山 NO.1 飛翔の実績を踏まえ多くの期待を集めました。6月10日（土）には80人強の観賞者が来訪されたが観賞者の30%程度しかホタルの光は見られなかった。原因調査をしているが、川の中の工事もなく5月7日の大雨もホタルは既に上陸しているので流されたことは関係無いようです。原因調査の一環で8月3日に福山市さんの出前教育で川の生き物を採取して判定する水質調査を行います。会員の皆様の努力が無にならないように役員児童頑張って調査します。6月11日10時30分より堂々公園内のアズマで21人参加総会を実施、上程議案は全て承認されました

3. 目で見る事例



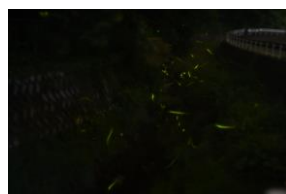
第17回総会会長挨拶



定例会8時開始



6月10日の観賞者1番砂留



6月10日のホタルの光



5番山際道の草刈り



6番砂留下方の彼岸花植栽



6番砂留の整備



4番川原に菖蒲が咲く



6番砂留修理完了

4. 次回定例会

7月16日（日曜日） 集合場所 1番砂留 8:00~10:00

作業内容：水質調査の準備 川の中整備 砂留整備 草刈り ごみ拾い

5. 発行責任者 堂々川ホタル同好会 会長 中山晋一
6. 会の活動を行う為保険に入ります。参加される人7月13日調整さんへ記載 翌日保険契約します。ラインが会の連絡網です。調整さんに参加の有無を入れてください。

注意 堂々川中流域は猪防御のため電気柵を設置しています。ホタルが終わる

6月21日から通電します。注意してください。

会の活動名「ホタルと花と砂留と」

最近、会では度々「ホタルと花と砂留と」が表示されますがその意味を記載します。
このテーマの設定は**ホタル**=環境保全のシンボル **彼岸花**=不法投棄防止の対策
砂留=下流の人々の安全を担保 誰に言われたわけではないがごみ拾いを17年
コツコツと1歩1歩進めた結果が福山市神辺に観光地が出来た要因のようです。
今年、皆さんの努力にもかかわらずホタルの飛翔が少なく申し訳ありません。

◎ 堂々川ホタル同好会関連知識



六番砂留含む8基国の登録有形文化財



日本最古の砂留！ 一番砂留



お客様少なくノボリ寂しそう



猪対策 四番砂留にも電気柵



六番砂留道よりの堂々谷余滴碑



6月11日TV取材が入る



猪には負けぬと草を刈る



三番砂留穴に松の枯れ枝



4月には沢山いた源氏の幼虫



御野小さんが花一杯運動を繰り広げられています。堂々川ホタルの会員数人が協力して草刈り、花を植える支援をしています。今年も近所の郵便局やJAさんは綺麗に花が咲いた頃プランターで届けられるはず。学校内の草が背丈ほどになっていた場所の草を刈るお手伝いもしています。堂々川へごみを拾いながら彼岸花球根植栽に来訪のお礼です。

*会報の配布を止めにしてしています。月例会の後、会報はホームページとラインに載せています。